

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科											
コンサートプロダクト2 PAコース											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	240	単位	8
担当教員	床鍋 隆			実務 経験	無	職種					
授業概要											
基礎実習ローテーション期間中は基本的な音響機材の仕込み作業(コネクタの種類や名称、ケーブル巻、機材の配置配線、音量操作など)を学びます。コース選択後はコンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しくアナログコンソールのしくみや各音響機器の設置配線やミキシング操作を片柳記念ホールで行います。											
到達目標											
基礎実習ローテーション期間中は、ケーブル・コネクタの種類や名称などを知り、PAの基本的な配線ができるようになる。基本的なフェーダー操作を覚え、簡単な台本に沿ったミキシング操作ができるようになる。コース選択後はアナログコンソールの詳しい仕組みとエフェクターを学び、カラオケミキシングができるようになる。一年次での最終目標は2バンドのステージ転換とスピーカーチューニング・ミキシングができるようになる											
授業方法											
基礎実習ローテーション期間中は基本的な音響機材の仕込み作業(コネクタの種類や名称、ケーブル巻、機材の配置配線、音量操作など)を学びます。コース選択後はコンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しくアナログコンソールのしくみや各音響機器の設置配線やミキシング操作を片柳記念ホールで行います。											
成績評価方法											
*積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 *グレードテストを定期的に行う。 *授業内容の理解度を確認するために実施する。											
履修上の注意											
授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消できるようにする。											
教科書教材											
資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第 1 回	スピーカシステム①：マルチウェイシステム チャンネルディバイダーと帯域ごとのスピーカーが理解できる										
第 2 回	スピーカシステム②：マルチウェイシステム 2 w a y システムと配線のチェック方法が理解できる										
第 3 回	スピーカシステム③：マルチウェイシステム 3 w a y システムと配線のチェック方法が理解できる										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
コンサート・イベント科	
コンサートプロダクト2 PAコース	
第4回	PA機材の理解：デジタル機器・グラフィックイコライザー・パラメトリックイコライザーが理解できる
第5回	モニターシステム①：モニター用ミキシングコンソールの使用方法とオペレート技術が理解できる
第6回	モニターシステム②：AUX回路からモニタースピーカーへの配線と音だしが理解できる
第7回	イベント②(ホールライブ実習A)：バンドライブにおけるセッティングとミキシング操作ができる
第8回	イベント②(ホールライブ実習B)：バンドライブにおけるセッティングとミキシング操作ができる
第9回	コンサート実習制作準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる
第10回	コンサート実習制作準備：チューニング、ステージ転換、単音チェックができる
第11回	修了ライブ 制作準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる
第12回	修了ライブ 制作準備：プランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる
第13回	修了ライブ 制作準備：ランニング、仕込み、オペレート、チューニングができる
第14回	イベント③(修了ライブ実習A)：2バンド転換とスピーカーチューニングライブ本番ができる
第15回	イベント③(修了ライブ実習B)：2バンド転換とスピーカーチューニング+A1:L38ライブ本番ができる